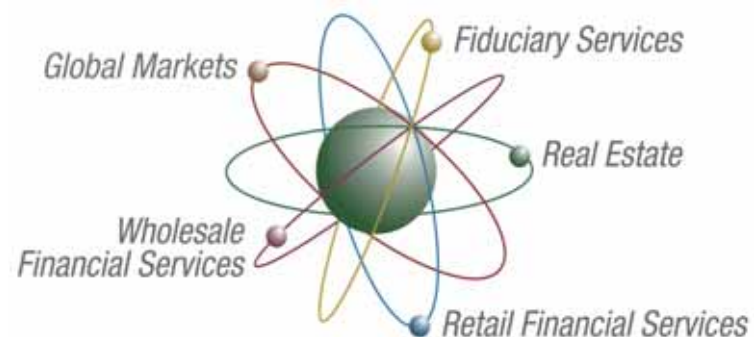




SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

***The Sumitomo Trust
& Banking Co., Ltd.***



2007年度上期 決算説明会

2007年11月27日

2008年2月8日

「2007年度第3四半期 決算概要」追加

- ▶ 2007年度上期 決算概況 および 財務状況
- ▶ 2007年度 決算予想
- ▶ 各事業の状況
- ▶ 当社の買収・提携戦略について
- ▶ 参考資料
- ▶ 2007年度第3四半期 決算概況



2007年度上期
決算概況 および 財務状況



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2007年度上期 決算の概要

- ▶ 単体実質業務純益は、受託・不動産事業を中心に手数料関連収支が好調に推移するも、マーケット資金事業における資金関連収支ならびにその他の収支の減収により、前年上期比 7%
- ▶ 中間純利益は、与信関係費用の増加を主因として連結・単体ともに前年上期比 約40%

<連結> (億円)	07年度上期	06年度上期	増減	増減率
実質業務純益	1,024	1,053	29	3%
経常利益	613	991	378	38%
中間純利益	377	639	262	41%

<単体> (億円)	07年度上期	06年度上期	増減	増減率
実質業務純益	807	868	60	7%
資金関連収支 (*1)	792	828	35	4%
手数料関連収支 (*2)	616	525	90	17%
その他の収支	37	120	82	69%
経費 ()	639	607	32	5%
与信関係費用 ()	347	33	314	933%
経常利益	428	859	431	50%
特別損益	93	10	104	989%
中間純利益	319	554	235	42%
1株当たり配当金(中間配当)	8.5円	8.5円	-	-

(*1) 貸信合同信託報酬(不良債権処理除き)を含む

(*2) 貸信合同信託報酬以外の信託報酬を含む



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

事業別損益の状況

- ▶ リテール、受託、不動産事業が好調に推移し、ホールセールも前年上期並みの利益を確保
- ▶ マーケット資金事業は、金利・為替関連取引の損益悪化で前年上期比 187億円ながら、事業全体では98億円の利益確保

(億円)	単体実質業務粗利益			単体実質業務純益			連結実質業務純益		
	07年度 上期	06年度 上期	増減	07年度 上期	06年度 上期	増減	07年度 上期	06年度 上期	増減
リテール事業	445	391	53	149	109	40	162	121	40
ホールセール事業	526	522	4	341	348	7	497	472	24
うち証券代行業	100	97	2	24	24	0	44	47	2
マーケット資金事業	98	286	187	51	241	189	51	241	189
受託事業	297	256	41	159	119	39	200	148	52
年金・投資マネージ	198	183	15	94	80	14	108	86	21
証券管理サービス	99	73	25	65	40	25	92	62	30
不動産事業	188	148	40	150	111	38	161	126	35
事務アウトソースに伴う支払 (*1)	133	135	2	-	-	-	-	-	-
その他 (*2)	25	7	17	42	60	18	46	56	9
合計	1,446	1,475	28	807	868	60	1,024	1,053	29

(*1) 支払額の事業毎の内訳は決算プレス発表時の「平成20年3月期中間決算説明資料」13ページをご参照

(*2) 資本調達・政策株式配当等の収支及び純粹本部のコスト等を「その他」として計上



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

主要グループ会社の連結損益への寄与額

- ▶ ファーストクレジットと受託事業に属する各社は、業容拡大で好業績を継続
- ▶ リース業2社は資金原価上昇等による採算悪化で減益ながら、住信リースグループは100%子会社化による効果で連結利益への寄与拡大

(億円)	所属事業	当社G 持分割合	連結実質業務純益 (*1)			中間純利益 (のれん償却前 (*2))		
			07年度 上期	06年度 上期	増減	07年度 上期	06年度 上期	増減
住信保証	リテール	100%	12.2	11.4	0.8	7.7	23.3	15.6
住信リースグループ (ウチ 100%子会社化の効果)	ホールセール	100%	30.5 (21.6)	9.2 (-)	21.3 (21.6)	12.1 (8.7)	5.6 (-)	6.5 (8.7)
住信・松下フィナンシャルサービス	ホールセール	66%	19.7	26.4	6.7	6.7	8.9	2.2
ファーストクレジット	ホールセール	100%	57.4	55.1	2.2	71.0	49.6	21.4
ビジネクスト	ホールセール	40%	13.0	13.0	0.0	0.6	1.4	2.1
日本TAソリューション	証券代行	80%	19.7	23.1	3.3	14.2	15.9	1.7
STB(USA)	受託	100%	20.4	13.2	7.1	12.0	8.0	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行	受託	33%	4.0	6.9	2.8	2.2	3.9	1.7
住信アセットマネジメント	受託	100%	12.9	5.8	7.1	7.4	3.3	4.0
すみしん不動産	不動産	100%	9.0	9.7	0.6	4.8	4.7	0.1
住信不動産投資顧問	不動産	100%	3.9	7.6	3.6	2.3	4.6	2.2

*1 連結子会社の場合：経常利益(臨時要因調整後) - 内部取引(配当等)

持分法適用会社の場合()：経常利益(臨時要因調整後) × 持分割合 - 内部取引(配当等)

*2 のれん償却額：住信・松下フィナンシャルサービス 10億円、ファーストクレジット 27億円ほか



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

国内資金利益の増減要因

- ▶ 預貸粗利鞘は改善基調を維持し、前年下期比 + 3BP、前年上期比 + 9BP
- ▶ 資金収支はスワップ収支の減少により前年上期比 40億円

【預貸粗利鞘(国内3勘定)の推移】

	07年度		増減(06年度比)		06年度		05年度	
	上期	下期比	上期比	下期	上期	下期	上期	
貸出金利回り	1.49%	+0.13%	+0.31%	1.36%	1.18%	1.09%	1.16%	
預金・信託元本利回り	0.44%	+0.10%	+0.22%	0.34%	0.22%	0.16%	0.17%	
預貸粗利鞘	1.05%	+0.03%	+0.09%	1.02%	0.96%	0.93%	0.99%	

【国内3勘定資金利益の増減要因】

(資金収支:億円、平残:兆円)	07年度上期			06年度上期			増減		
	収支	平残	利回り	収支	平残	利回り	収支	平残	利回り
国内3勘定資金利益(*1)	717			757			40		
資金運用収益	1,078	14.98	1.43%	964	15.87	1.21%	114	0.88	0.22%
uf 貸出金	753	10.07	1.49%	607	10.26	1.18%	146	0.18	0.31%
uf 有価証券等(*2)	290	3.76	1.53%	220	4.29	1.02%	70	0.52	0.51%
uf スワップ収支	29			115			86		
資金調達費用	368	15.12	0.48%	206	15.76	0.26%	161	0.64	0.22%
uf 預金・信託元本	252	11.40	0.44%	125	11.24	0.22%	126	0.16	0.21%
uf 譲渡性預金	66	2.08	0.63%	22	2.25	0.19%	44	0.16	0.44%
uf コールマネー等(*3)	26	0.92	0.56%	17	1.66	0.20%	8	0.73	0.35%

(*1) 貸信合同信託報酬を含む

(*2) 有価証券及び買入金銭債権

(*3) コールマネー、売渡手形、信託勘定借、売現先、レポ、短期社債



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

手数料収入の増減要因

- ▶ 受託事業：投信、年金信託の受託残高伸長により、高成長を継続
- ▶ リテール事業：投信販売のストック効果による管理手数料増加を主因に増益達成
- ▶ 不動産事業：首都圏の優良大型案件に係る仲介、証券化手数料が牽引して増益達成

<連結> (億円)	07年度	06年度	増減額	増減率	主な要因(億円)
	上期	上期			
その他信託報酬	309	278	30	11%	年金信託 19、指定単 8 投資信託 21
年金信託・指定単・金外信	168	157	10	6%	
投資信託・特金・有価証券信託	80	58	22	38%	
役務取引等利益	550	466	84	18%	投信手数料 20、保険手数料 9 事業用不動産仲介 28 グローバルカストディ 13
国内部門	500	435	64	15%	
リテール事業関連	145	134	10	7%	
ホールセール事業関連	221	218	2	1%	
ウチ証券代行事業関連	107	104	3	3%	
不動産事業関連	186	160	25	16%	
事務(証券管理・年金事務)の アウトソースに伴う支払	68	72	3	4%	
国際部門	50	30	19	63%	
合計(A)	859	745	114	15%	
実質粗利益(B)	1,953	1,883	70	4%	
手数料比率(A)/(B)(%)	44.0%	39.5%	4.5%	11%	



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

与信関係費用の状況

- ▶ 要注意先の「一部業種」に対する引当強化により約310億円
- ▶ 海外法人向けローン(CLO発行までのウェアハウジングローン)の売却損・引当等により約90億円

【与信関係費用の内訳(単体)】

2007年度上期	(億円)	主な増減要因
銀行勘定処理額	347	
一般貸倒引当金純繰入額	222	要注意先「一部業種」要因: 一部格下げによる引当増 約310 残高減少等 約 80 海外法人向けローン 約30 その他 約 40
不良債権処理額	125	
うち 貸出金償却	92	海外法人向けローン 43
うち 個別貸倒引当金純繰入額	14	
うち 債権売却損	17	海外法人向けローン 17
信託勘定処理額	-	
与信関係費用 合計	347	

* マイナス()は貸倒引当金戻入益の計上

約230 (一部格下げによる引当増 約310 + 残高減少等 約80)
 約60 (海外法人向けローン 43 + 海外法人向けローン 17)
 約90 (約230 + 約60)

売却処分額(約1,400億円)に対する損失率 4.2%



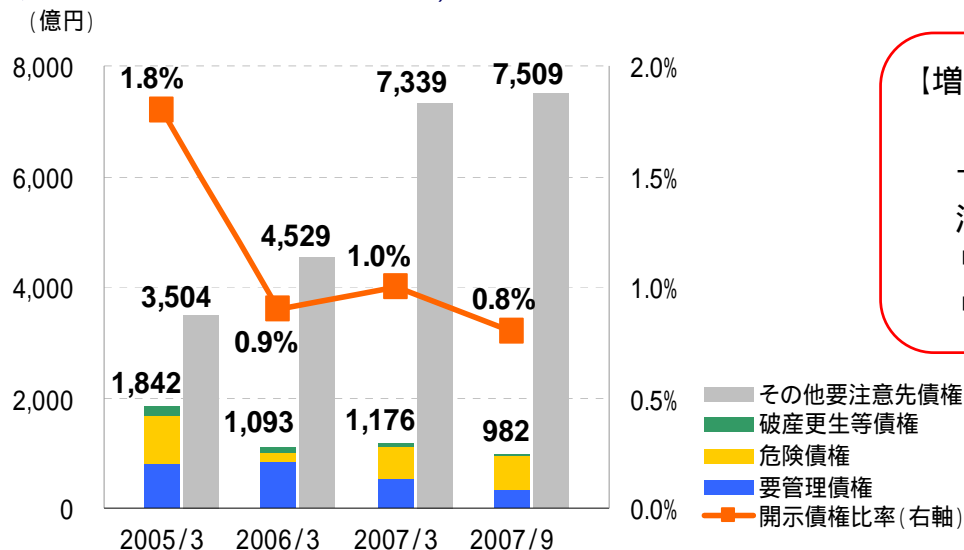
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

開示債権と債務者区分の異動

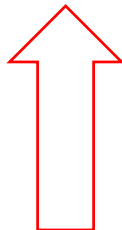
- ▶ 要管理先債権の区分改善を主因に開示債権残高は減少し、開示債権比率0.8%
- ▶ 要注意先債権は、海外法人向けローンの一部(約700億円)の格下げを主因に447億円の増加

【開示債権残高・比率推移
(単体、銀行勘定・信託勘定合計)】



【増減要因:2007/3末比】

一部の大口先の区分改善
海外ウェアハウジング・ローン + 約700
「一部業種」+ 約90 など
「一部業種」 約480 など



【要注意先以下の債権の増減要因
(単体、銀行勘定・信託勘定合計)】

(億円)	07/9末	07/3末	増減	区分間の異動				返済等
				悪化(+)	悪化(-)	改善(+)	改善(-)	
破産更生等債権	55	65	10	11			2	19
危険債権	598	585	13	94	5	1	19	57
要管理先債権	354	827	473	20	4	8	480	18
要管理先債権以外の要注意先債権	7,484	7,037	447	1,344	77	180	203	796



有価証券及び金利リスクの状況

- ▶ 評価損益は株価下落を主因に減少して3,653億円、「その他(外国国債等)」 490億円のうち、海外クレジット債券で 287億円
- ▶ 「債券(円債)」「その他(外国国債等)」は内外国債投資の上積みを中心に約1兆円の増加

【有価証券の評価損益(連結:償却後/時価のあるもの)】

(億円)	貸借対照表計上額			取得原価			評価損益		
	07/9末	07/3末	増減	07/9末	07/3末	増減	07/9末	07/3末	増減
満期保有目的の債券	6,631	7,068	436	6,631	7,068	436	3	16	12
その他有価証券	53,548	40,840	12,708	49,895	35,875	14,019	3,653	4,964	1,311
株式	9,132	9,891	759	4,932	4,819	112	4,200	5,072	872
債券(円債)	11,147	9,514	1,633	11,204	9,550	1,654	56	35	21
その他(外国国債等) (*1)	33,267	21,433	11,834	33,758	21,505	12,252	490	72	418

(*1) 2007/9末より、金融商品取引法施行に伴い有価証券に含まれる信託受益権の範囲が拡大しています(影響額3,451億円)。

【マーケット資金事業部門保有債券(単体) (*2)】

(億円)	取得原価			評価損益			10BPV		
	07/9末	07/3末	増減	07/9末	07/3末	増減	07/9末	07/3末	増減
円貨	16,935	15,247	1,687	43	47	3	71	56	14
外貨	13,762	5,904	7,857	309	198	111	83	22	60
ドル	4,944	1,903	3,041	51	20	31	32	4	27
ユーロ等	8,817	4,001	4,815	257	177	80	50	18	32

(*2) 「満期保有目的の債券」「その他有価証券」を合算した管理ベース計数

【アウトライヤー比率(連結) (*3)】

(億円)	07/9末	07/3末	増減
総金利リスク量	1,912	1,209	702
うち円	870	679	191
Tier +Tier	19,617	19,308	308
アウトライヤー比率	9.74%	6.26%	3.48%

(*3) 算定手法については2007年ディスクロージャー誌P.140を参照



自己資本の状況

- ▶ Tier 比率は6.68%、段階的適用効果を考慮すれば目標水準(7-8%)は射程圏内
- ▶ リスク・アセットは内外法人向けローン、株式時価の減少を主因に3月末比 0.36兆円の15.55兆円 (参考)

【自己資本及び自己資本比率】 (億円)	バーゼル 基準			旧告示基準		
	07/9末	07/3末	増減	07/9末	07/3末	増減
自己資本総額	18,364	18,098	265	20,135	19,666	468
基本的項目(Tier)	10,405	10,261	143	10,567	10,472	94
うち 利益剰余金	4,065	3,830	234	4,065	3,830	234
うちのれん相当額()	1,197	1,048	149	1,197	1,048	149
うち (EL-適格引当金) × 50% ()	161	210	49	-	-	-
補完的項目(Tier)	9,211	9,046	165	10,138	9,772	365
うち 有価証券の時価と簿価との 差額の45%相当額	1,666	2,236	570	1,666	2,236	570
うち 負債性資本調達手段等	7,463	6,751	712	7,463	6,751	712
資本控除項目()	1,252	1,209	42	570	578	8
うち (EL-適格引当金) × 50%	161	210	49	-	-	-
うち 証券化エクスポージャー	515	412	103	-	-	-
自己資本比率(%)	11.80	11.36	0.44	12.65	12.15	0.50
Tier 比率(%)	6.68	6.44	0.24	6.64	6.47	0.17

【リスク・アセット】 (億円)	バーゼル 基準			旧告示基準		
	07/9末	07/3末	増減	07/9末	07/3末	増減
リスク・アセット等	155,558	159,249	3,691	159,059	161,821	2,762
信用リスク・アセット	147,192	151,006	3,813	157,705	160,231	2,526
マーケットリスク・アセット	1,354	1,589	235	1,354	1,589	235
オペレーショナルリスク・アセット	7,011	6,653	357	-	-	-



2007年度 決算予想



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2007年度決算予想 (2007年11月公表)

- ▶ 下期については期初計画をほぼ据え置き、連結当期純利益は900億円の計画
- ▶ 配当金は、配当性向31.6%に相当する1株当たり17円と、前年度と同水準の計画

	06年度 実績	07年度 (07年5月予想)	07年度 (今回予想)
<連結>			
(億円)			
実質業務純益	2,154	2,200	2,150
経常利益	1,701	1,850	1,500
当期純利益	1,038	1,200	900
<単体>			
実質業務純益	1,759	1,800	1,750
与信関係費用()	405	250	500
経常利益	1,345	1,550	1,200
特別損益	20	100	100
当期純利益	818	1,000	800
1株当たり配当金(通期)	17円	18円	17円
連結配当性向	27.4%	25.1%	31.6%



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

各事業の状況



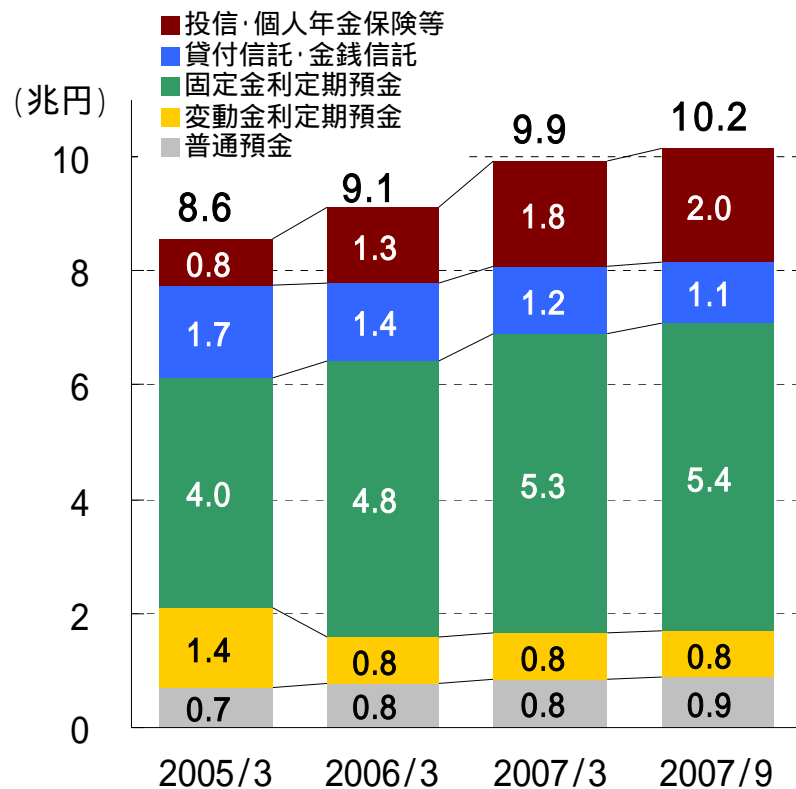
SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

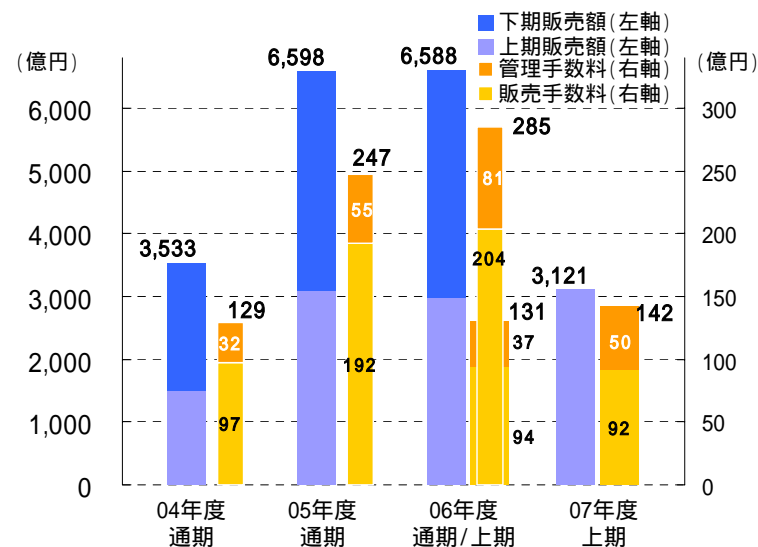
リテール事業

- ▶ 総預り資産は引き続き順調に拡大し、遂に10兆円の大台を突破
- ▶ 投信・年金保険の販売額(3,121億円)は、前年同期並みの水準を維持、手数料収入は投信のストック効果で前年同期比+11億円

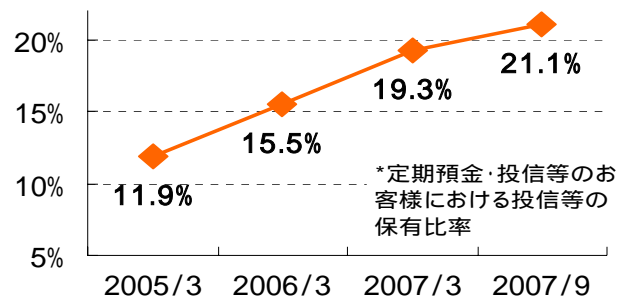
【預り資産ポートフォリオ(個人)の推移】



【投資信託・年金保険等の販売額・収益推移】



【投資信託等保有比率*の推移】



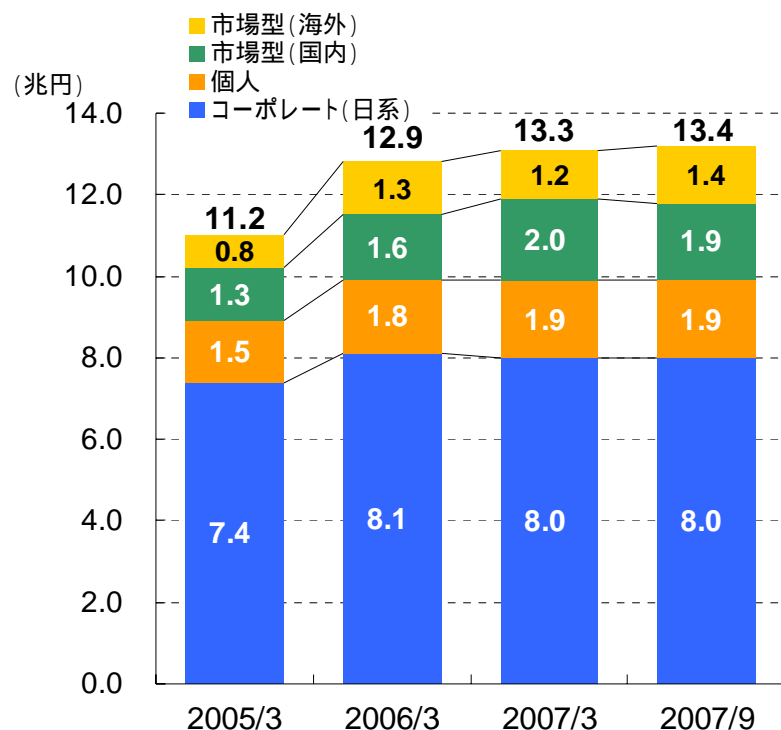
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

ホールセール事業及び貸付金等の状況(単体)

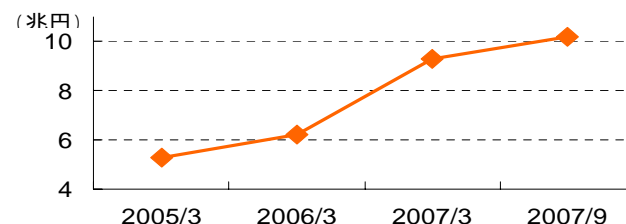
- ▶ 信用ポートフォリオ残高は国内資金需要の伸び悩み、約1,100億円の流動化により、3月末比微増の13.4兆円
- ▶ 非金利収入は、不動産ノンリコースローン、海外クレジット投資関連の収入増加で、前年同期比+26億円

【貸付金等残高の推移(単体)】

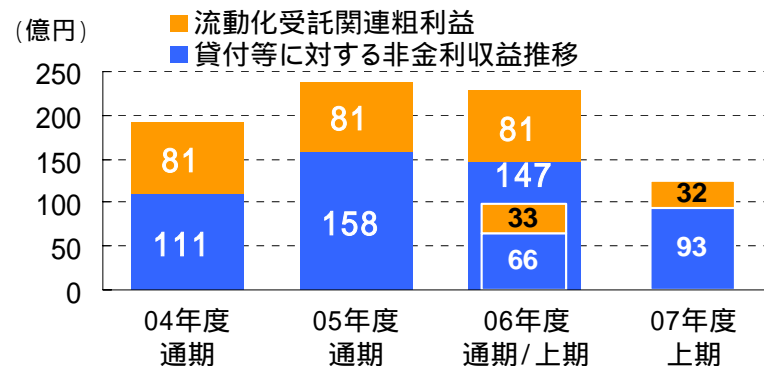


* コーポレート: 相対型、シンジケートローン、他行債権買取
市場型: クレジット投資目的の債券を含む。

【証券化受託残高推移】



【流動化受託・貸付関連の非金利収益推移】



【個人ローン実行額】

年度	実行額 (億円)
04年度	2,748
05年度	4,615
06年度 通期(上期)	3,771
07年度 (上期)	(1,380)



海外クレジット投資の概要

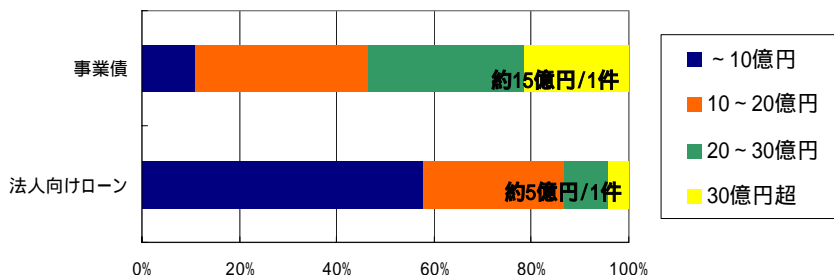
- ▶ 海外の証券化商品への投資残高 約7,200億円、うちエクイティ性の商品は約840億円(連結ベース)
- ▶ 投資の基本方針は、ローリスク～ミドルリスクを対象とする分散投資

【アセット種別投資状況 2007/9末現在】

時価	(億円)	取得 原価	好証券化 エクイティ	評価 損益	評価 損益率
有	資産担保証券	6,490	446	226	3.5%
	RMBS	2,317	-	54	2.3%
	CMBS	325	-	8	2.6%
	CLO	2,233	-	41	1.8%
	Cards	778	-	23	3.0%
	その他	835	446	98	11.7%
	社債	3,267	-	55	1.7%
無	法人向けローン	3,857	-		
	非上場外国証券	1,016	282		
	好資産担保証券	689	282		

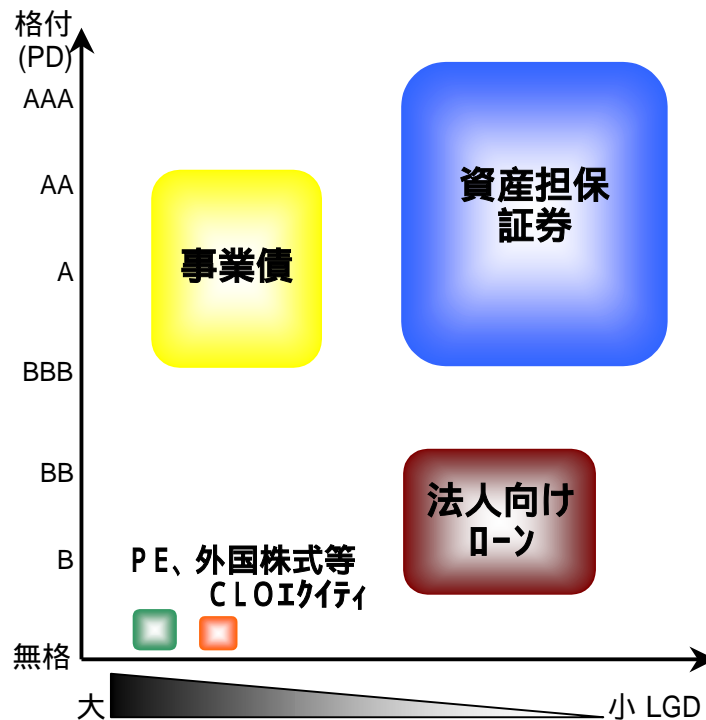
このほか、当社連結子会社であるSTB Omega Investment Ltd.(当社持分75%)が北米の法人向け貸出債権担保証券(CLOエクイティ)114億円(評価損益 29億円)を保有

【事業債、法人向けローンの投資分散状況 / 1件あたり投資残高(*)】



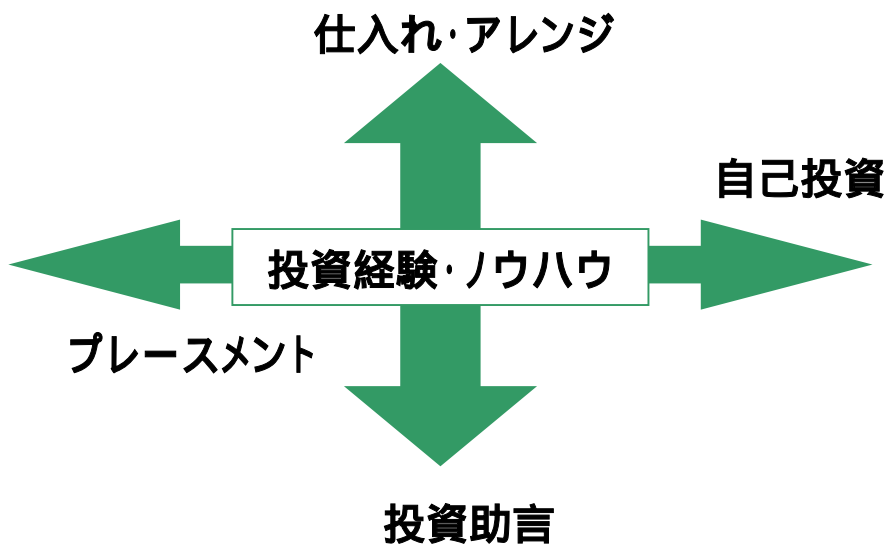
(*)法人向けローンのうち、集合債権を裏付資産とするものについては、裏付資産の分散状況を反映

【ポートフォリオの概念図】



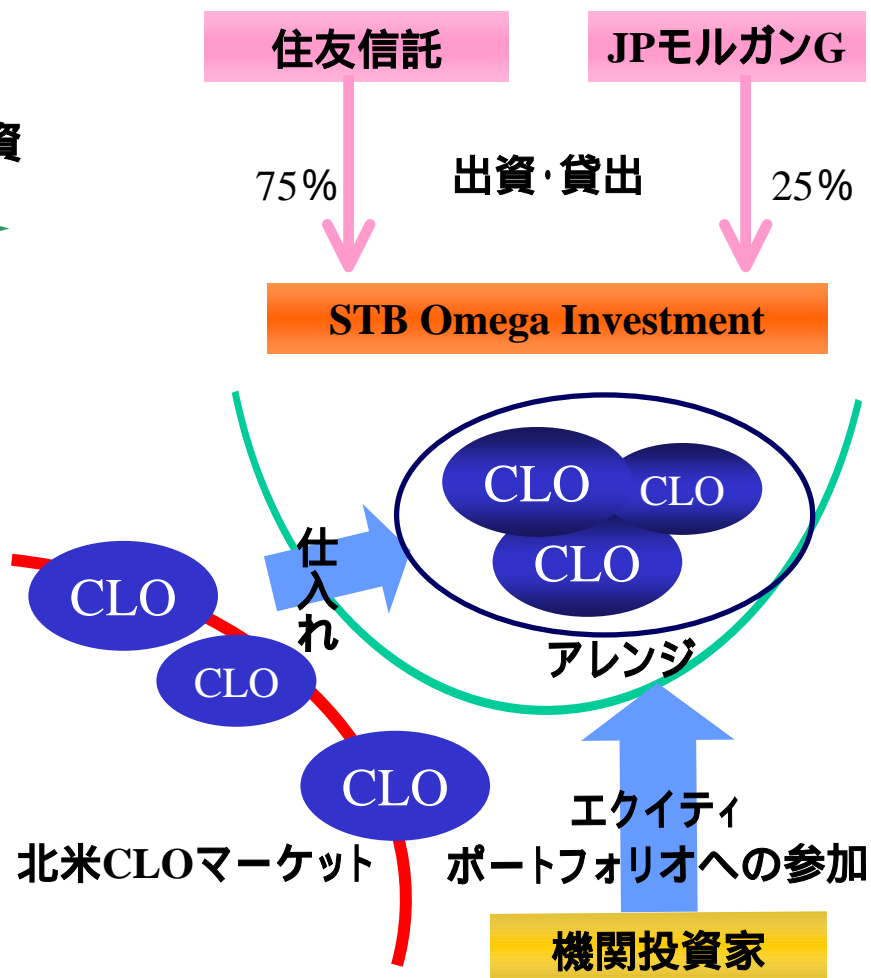
海外クレジット投資の信託事業への展開事例 ----- CLOビジネスの概要

【銀行、信託、不動産を活用したビジネスモデル】



仕入れ・アレンジ	投資経験・ノウハウを活かした投資対象の案件化
プレースメント 投資助言	機関投資家のオルタナティブ投資ニーズに対応
自己投資	リスク対比リターン相対優位な市場を狙った自己投資

【CLOビジネスストラクチャー】



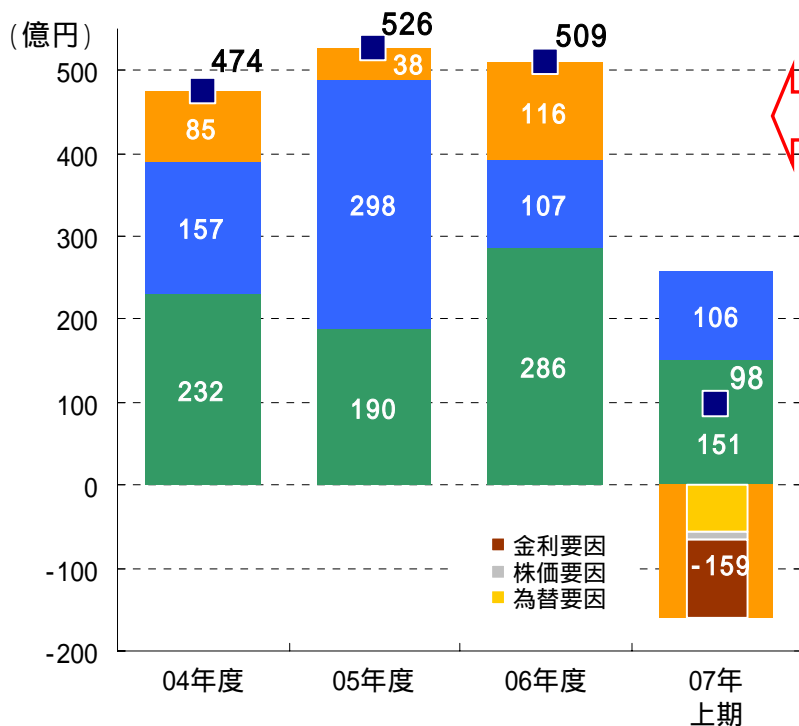
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

マーケット資金事業

- ▶ 「投資」ブロックが内外金融市場の急変動で金利・為替取引中心に実現損を計上
- ▶ 「対顧サービス」「財務マネージ」は堅調推移し、本事業の収益安定化に貢献
- ▶ 「投資」ではポジションの大半を一旦手仕舞い、リスク量管理を強化

【収益内訳(実現損益ベース)】

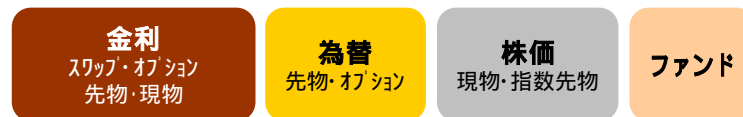


【マーケット資金事業の三つの柱】

対顧サービス: 貸出・預金及び金利・為替関連商品のマーケットメイク、市場性金融商品の組成・販売
 財務マネージ: 当社B/Sに内包する市場性リスク(*)に着目したマーケットオペレーション (* 流動預金にかかる金利リスク、株価リスク等
 投資: 自己勘定投資による絶対収益確保

【投資ブロックの運営方針】

1) 投資対象の分散



2) 投資主体の分散



【リスク管理の強化策】

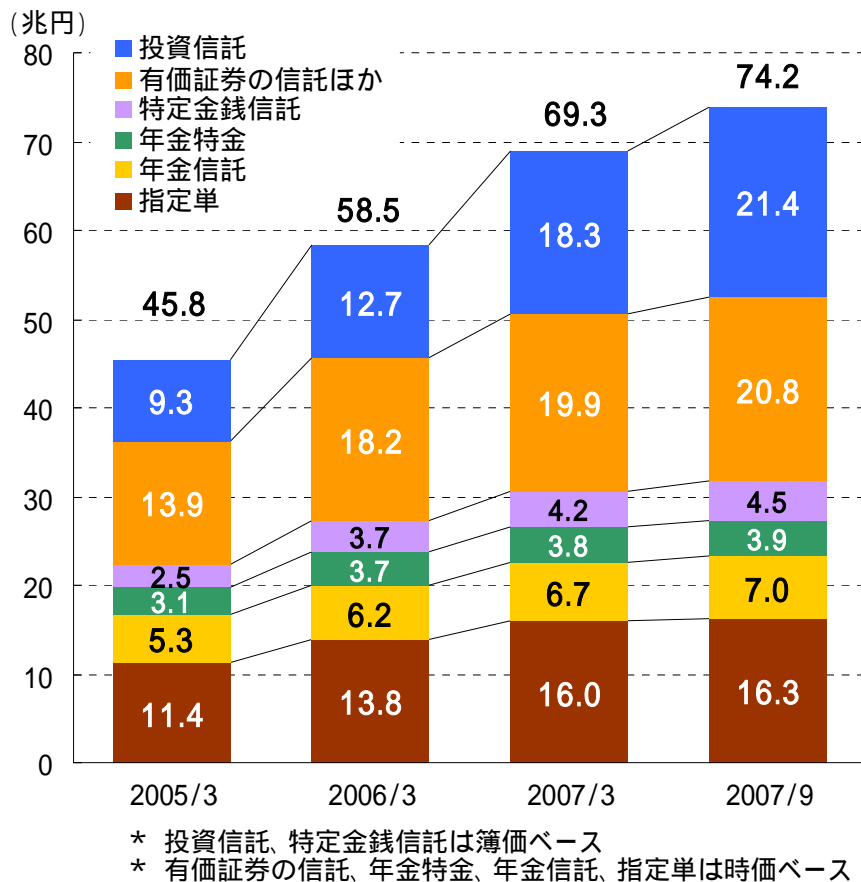
「分散」の高度化: 戦略の高度化と分散効果の検証
 リスク量管理の強化: センシティブティ分析によるポジション管理強化



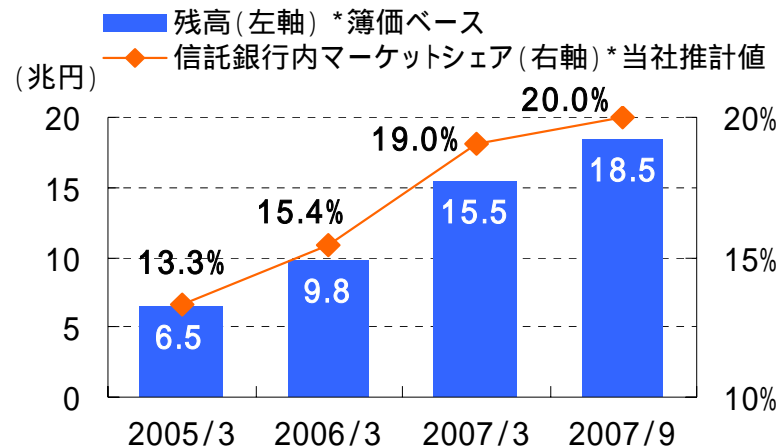
受託事業 (総受託残高、証券管理サービス)

- ▶ 受託残高は投資信託が牽引して前年度末比7%の増加
- ▶ 「貯蓄から投資へ」の流れを受け株式型投信は前期比19%の増加、市場シェアも20%に

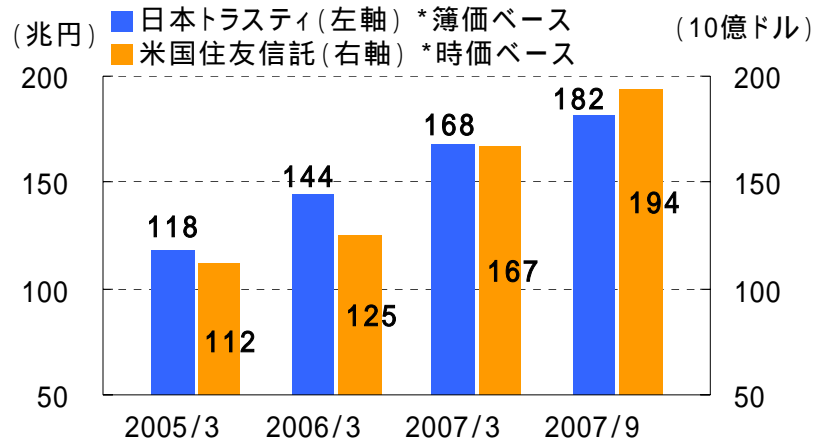
【受託資産残高推移】



【株式型投資信託の残高推移】



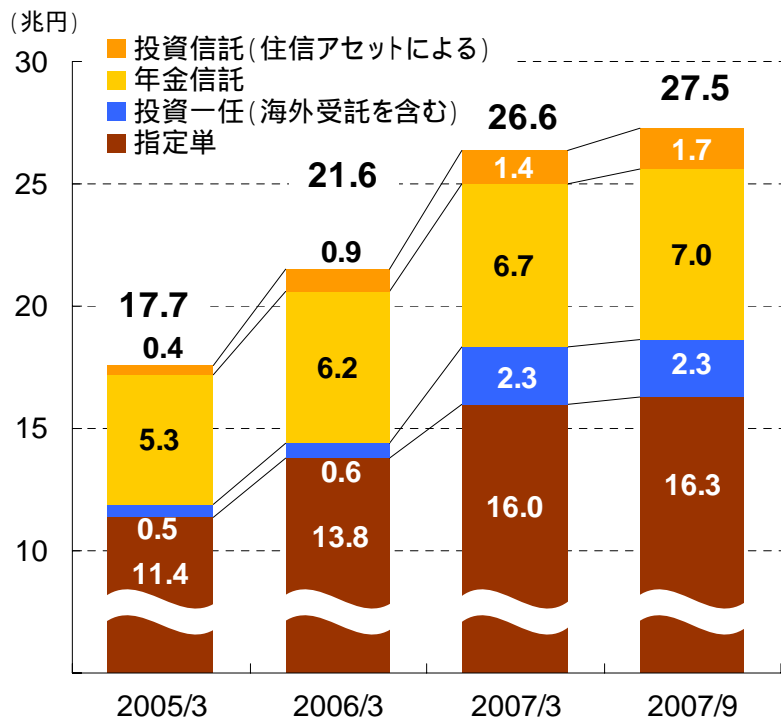
【日本トラスティ・サービス信託 受託資産残高推移】
【米国住友信託 受託資産残高推移】



受託事業 (年金、投資マネージ)

- ▶ グループベースの運用資産残高は前年度末比3%増の27.5兆円
- ▶ 年金信託は順調にシェア向上、受託者間のシェア変更要因による月次の純増減において**連続60ヶ月超の純増達成**(2002年8月より)

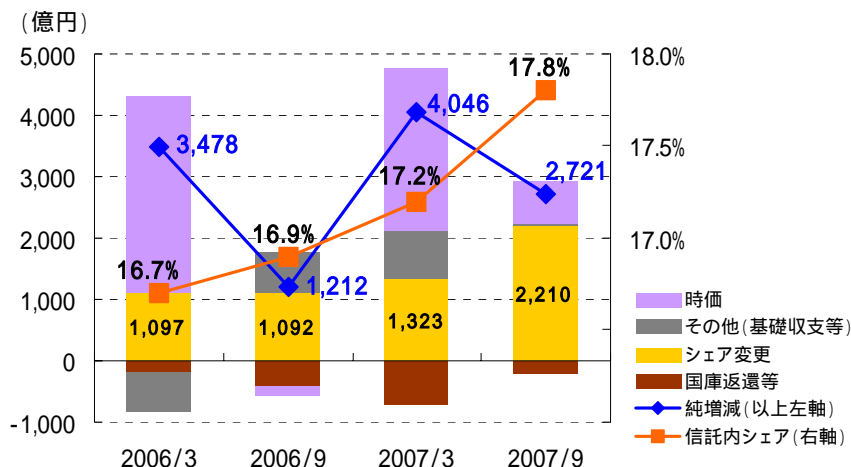
【当社グループ運用資産残高推移】



* 時価ベース

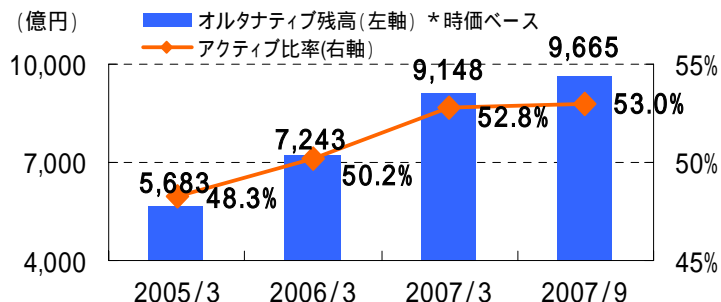
【年金信託残高の増減要因】

【年金信託の信託銀行内マーケットシェア *当社推計値】



【年金信託アクティブ運用比率推移】

【オルタナティブ投資受託残高推移】

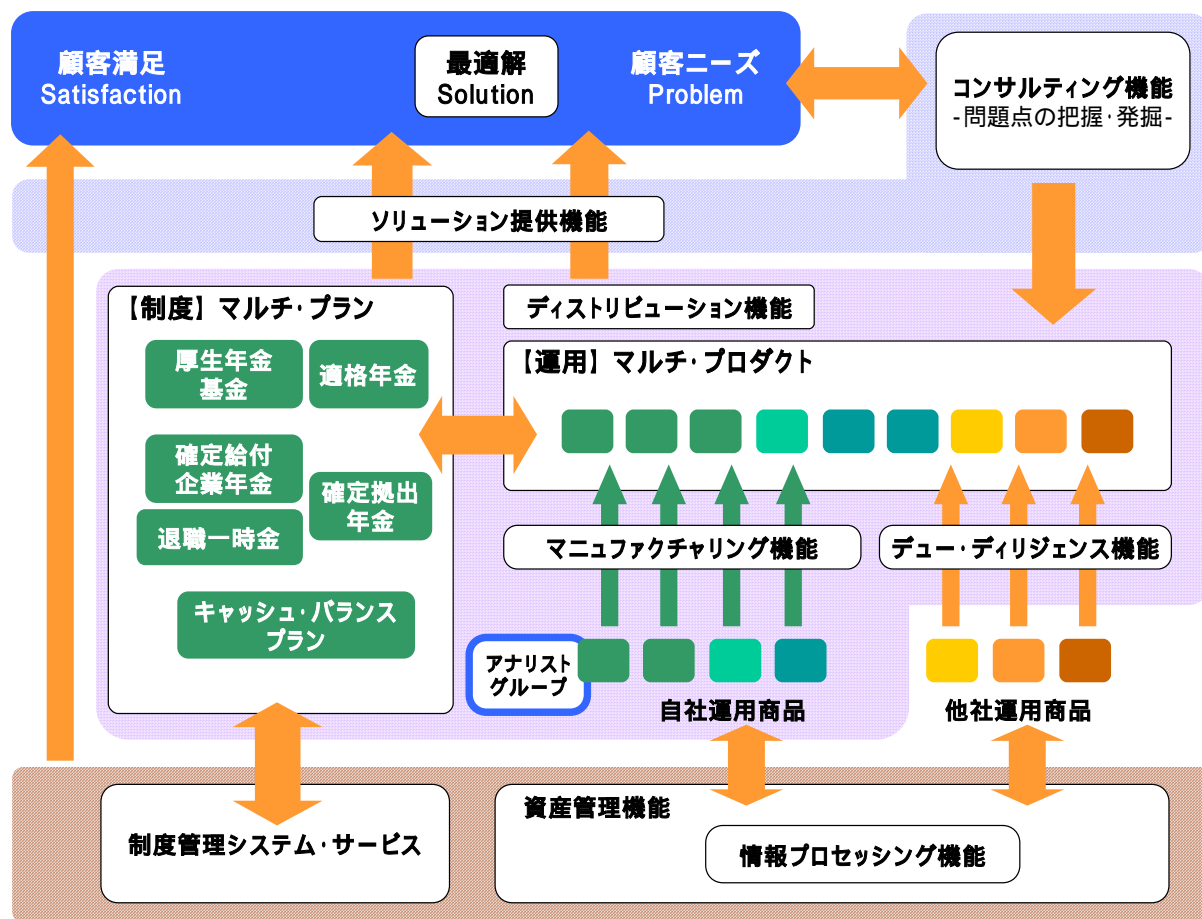


SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

受託運用のビジネスモデル

- ▶ プロダクトを組み合わせ最適なソリューションを実現するオープンプラットフォーム
- ▶ 制度と運用が一体となった付加価値の高いサービスと情報プロセッシング機能



販売のブランド 住信に行けば何らかの解決策を提示してくれる、という期待感



住友信託銀行はグリニッチ・アソシエイツが2007年10月に全米の主要機関投資家を対象に開催したコンファレンスでパネリストをつとめました。

商品のブランド 住信に行けばクオリティの高い商品が見つかる、という期待感

【アナリスト評価】

年度	順位
平成16年度	1位
平成17年度	2位
平成18年度	1位

評価項目：
 質問のクオリティ
 情報収集
 往訪頻度の高さ
 経営陣とのコンタクト

東証一部上場企業(約1000社)のIR担当者に対して行った、運用機関アナリストの調査状況についてのアンケート(回答数181社)。対象：資産運用会社約100社。出所：みずほ総合研究所

【推奨実績】



2007日本株5年
2006日本株3年



ファンドオブザイヤー
2006国内株優秀ファンド賞



国内株式総合(5年)
国内株式バリュー(3年)



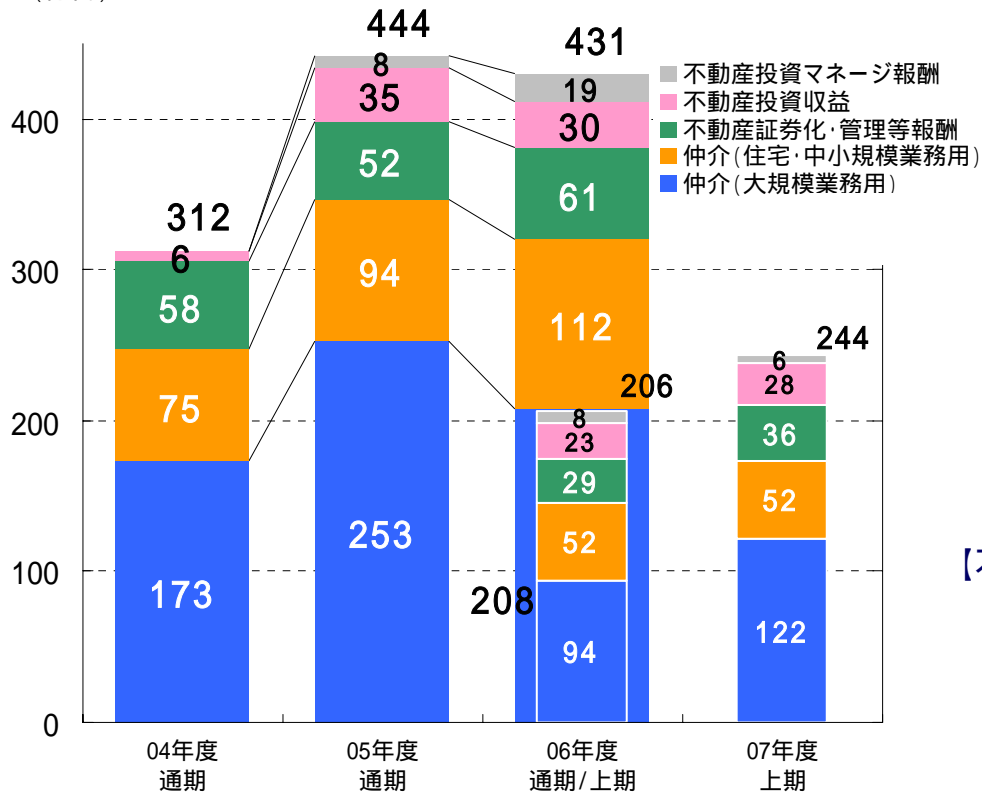
SUMITOMO TRUST 住友信託銀行

不動産事業

- ▶ 首都圏の優良大型案件に係る仲介、証券化手数料の積み上げで増益達成
- ▶ 証券化、不動産信託、投資マネージ、開発コンサルなど、収益源多様化の推進継続

【不動産業務粗利益の推移】

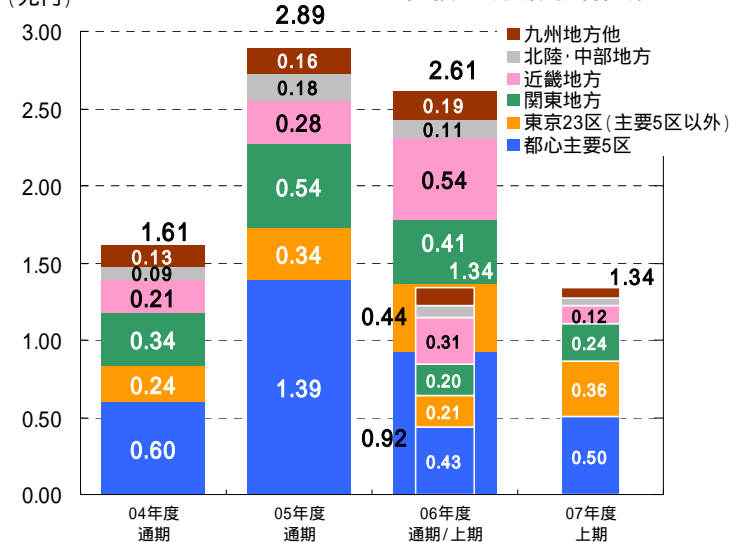
(億円)



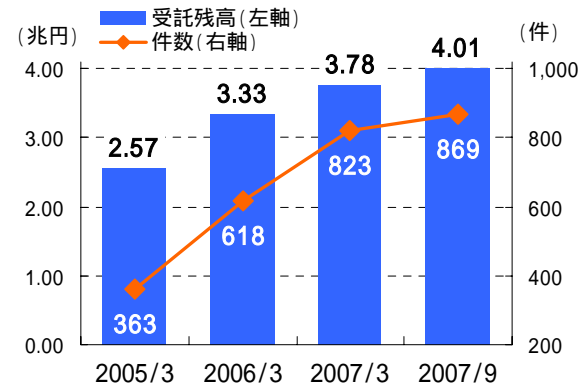
【不動産取引金額の推移】

(兆円)

東京証券取引所TDnetをもとに
住信基礎研究所作成



【不動産証券化 受託資産残高推移】



SUMITOMO TRUST 住友信託銀行

当社の買収・提携戦略について



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

当社の買収・提携戦略 – 基本方針

I. 基本方針

- ▶ お客様・市場の支持を得られる事業領域、特に信託・財管事業の補完に資する戦略の推進
- ▶ 企業系列等に拘らず、顧客基盤または事業ノウハウのある先と戦略的パートナーシップを構築
- ▶ 相互の経営・営業戦略を尊重し、両者の強みを発揮・融合させることでWin-Winの実現

II. 狙い・原則



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

信託・不動産事業分野における最近の買収・業務提携の事例

あおぞら銀行グループとの業務提携 (2007年11月20日公表)

【狙い】

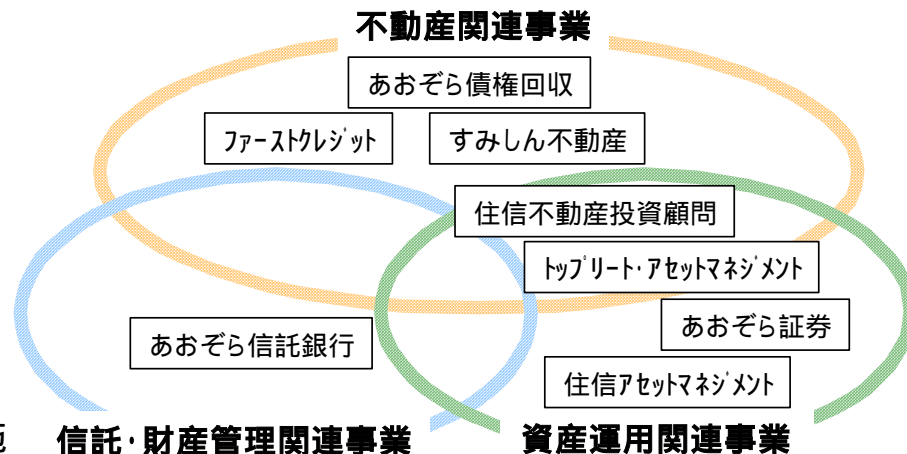
不動産総合事業化の一層の推進・強化
 地域金融機関を中心とする顧客に対する共同での幅広い金融商品・サービスの提供

【対象事業】

不動産関連事業
 信託・財産管理関連事業
 資産運用関連事業

【今後のスケジュール】

2008年3月末までを目処に具体的提携を検討・実施



BGI信託銀行の買収・合併 (2007年11月26日公表)

【狙い】

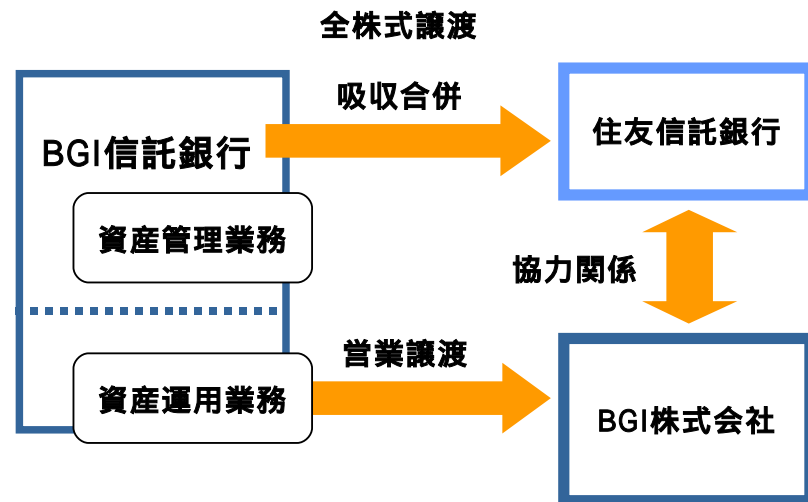
企業年金・公的ファンドからの特金受託の拡大

【買収スキーム】

BGI信託銀行の資産運用業務をBGI株式会社が承継した上で、BGI信託銀行の全株式を当社が取得
 当社は資産管理業務を承継

【今後のスケジュール】

2007年12月13日 合併契約締結
 2008年 1月31日 BGI信託銀行株式の譲受け
 2月 1日 吸収合併の効力発生



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

參考資料



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

ファーストクレジット、ライフ住宅ローンの状況

- ▶ ファーストクレジット、ライフ住宅ローンともに貸出実行額が順調に伸び、大幅増益を達成
- ▶ ファーストクレジットは前年度の貸倒引当金戻入効果も加わり、純利益ベース(27億円のれん償却後)ベースでも45億円の寄与

【ファーストクレジット】

主要P/L (億円)	2007年度上期		2006年度 上期
		増減	
営業利益	57	13	43
貸付金事業粗利	79	4	75
営業経費()	21	9	31
経常利益	57	13	43
中間純利益	71	21	49
与信関係費用()*	12	22	10

* 貸倒引当金繰入額

貸出実行額	1,081	87	993
-------	-------	----	-----

主要B/S (億円)	2007年9月末		2007年 3月末
		増減	
総資産	2,076	379	1,697
㊦ 営業貸付金	1,852	325	1,526
㊦ 貸倒引当金	70	13	83
純資産	437	71	366

【ライフ住宅ローン】

主要P/L (億円)	2007年度上期		2006年度 上期
		増減	
営業利益	15	3	11
貸付金事業粗利	20	2	17
営業経費()	4	0	5
経常利益	16	4	11
中間純利益	9	3	6
与信関係費用()*	0	1	1

* 貸倒引当金繰入額

貸出実行額	156	20	135
-------	-----	----	-----

主要B/S (億円)	2007年9月末		2007年 3月末
		増減	
総資産	1,136	106	1,030
㊦ 営業貸付金	1,057	102	955
㊦ 貸倒引当金	5	0	6
純資産	63	9	53



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

住信リースグループ、住信・松下フィナンシャルサービスの状況

- ▶ 住信リースGは信用コスト増、住信・松下フィナンシャルサービスは資金原価増による減益
- ▶ 両社のグループ内再編を2008年中に実施の計画、総合ファイナンス事業の一体展開へ

【住信リースグループ】

主要P/L (億円)	2007年度上期		2006年度
		増減	上期
営業利益	24	9	34
㊦ 賃貸料粗利	57	5	51
㊦ 資金原価()	22	7	15
㊦ 販売管理費()	36	9	26
経常利益	24	9	34
中間純利益	13	6	20

主要B/S (億円)	2007年9月末		2007年
		増減	3月末
総資産	5,459	255	5,204
㊦ リース資産	3,530	119	3,411
㊦ 割賦債権	957	47	910
㊦ 営業貸付金等	430	28	458
純資産	473	10	463

【住信・松下フィナンシャルサービス】

主要P/L (億円)	2007年度上期		2006年度
		増減	上期
営業利益	15	8	23
㊦ 賃貸料粗利	35	1	36
㊦ 資金原価()	23	10	13
㊦ 販売管理費()	85	3	88
経常利益	17	8	25
中間純利益	13	1	15

主要B/S (億円)	2007年9月末		2007年
		増減	3月末
総資産	5,995	20	6,015
㊦ リース資産	3,589	15	3,573
㊦ 売掛金	1,361	32	1,394
㊦ 営業貸付金	725	10	715
純資産	705	6	698



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2007年度第3四半期 決算概要



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2007年度第3四半期 決算の概要

- ▶ 実質業務純益(単体)は前年同期比 63億円(中間期は同 60億円)、3Qは投信販売減速と貸出の伸び悩みをマーケット関連でリカバー
- ▶ 純利益(単体)は海外クレジット関連損失の増加を主因として前年同期比 358億円(中間期は同 235億円)

<連結>(億円)	07年度3Q	06年度3Q	増減額	増減率
実質業務純益	1,485	1,511	26	2%
経常利益	874	1,480	606	41%
四半期(当期)純利益	538	985	446	45%

<単体>(億円)	07年度3Q	06年度3Q	増減額	増減率
実質業務純益	1,158	1,221	63	5%
資金関連収支(*1)	1,166	1,145	21	2%
手数料関連収支(*2)	786	735	50	7%
その他の収支	161	234	72	31%
経費()	956	894	62	7%
与信関係費用()	327	47	280	595%
(海外クレジット投資関連損失込み)	(510)	(47)	(463)	(983%)
経常利益	625	1,216	590	49%
特別損益	95	18	77	417%
四半期(当期)純利益	455	813	358	44%

(*1) 貸信合同信託報酬(不良債権処理除き)を含む (*2) 貸信合同信託報酬以外の信託報酬を含む



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2007年度決算予想 (2008年1月公表)

- ▶ 通期の当期純利益、配当予想は07年11月予想を据え置き
- ▶ 与信関係費用(海外クレジット関連損失込み)は100億円増加見込みながら、株式売却益等でリカバーの計画

<連結>	(億円)	06年度 実績	07年度 (07年11月予想)	07年度 (08年1月予想)
実質業務純益		2,154	2,150	2,150
経常利益		1,701	1,500	1,500
当期純利益		1,038	900	900
<単体>				
実質業務純益		1,759	1,750	1,750
与信関係費用()		405	500	300
(海外クレジット関連損失込み)		(405)	(500)	(600)
経常利益		1,345	1,200	1,200
特別損益		20	100	100
当期純利益		818	800	800
1株当たり配当金(通期)		17円	17円	17円
連結配当性向		27.4%	31.6%	31.6%



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

海外クレジット投資の概要 (第3四半期)

- ▶ 時価のある証券化商品の残高 約7,200億円は高格付中心で評価損率 4.4% (2007年12月末)
- ▶ SIV発行キャピタル・ノートについては着実に処理が進展

【アセット種別投資状況 2007年12月末現在】

(単位: 億円)

時価	有価証券・貸出金 種別 <small>証券化エクイティ</small>	取得原価			9月末比 増減	評価損益		評価 損益率
		全店	うち 北米	うち 欧州		全店	9月末比 増減	
有	資産担保証券	7,198	3,307	3,854	708	319	92	4.4%
	RMBS	2,688	270	2,392	370	112	57	4.2%
	CMBS	449	10	439	124	11	3	2.6%
	CLO	2,339	1,645	694	106	104	63	4.5%
	Cards	1,014	888	114	236	37	14	3.7%
	その他	706	492	213	129	52	45	7.4%
	うち SIV発行キャピタル・ノート	198	198	-	247	15	71	7.9%
	社債	3,815	373	1,674	547	71	15	1.9%
無	法人向けローン	3,252	1,943	707	605			
	非上場外国証券	1,028	712	190	12			
	うち 資産担保証券	688	611	76	1			
	うち CLOエクイティ	303	263	39	20			

SIVキャピタル・ノートのリスクコントロールを目的として、高格付(AA以上)のABS・金融債(欧州中心)を引取り(約1,360億円)

SIVキャピタル・ノートの残高 247億円
うち 売却 118
(売却損 46)
減損 129

ウェアハウジングローンを中心に法人向けローンのリスク削減

上記のほか、当社連結子会社であるSTB Omega Investment Ltd. (当社持分75%)が非上場外国証券(CLOエクイティ)取得原価112億円(評価損益 約50億円)を保有

【北米サブプライムローンを主たる対象資産とする投融資】 【モノライン保証の投融資】

	2007年12月末		9月末比増減		2007年9月末	
	取得原価	評価損益	取得原価	評価損益	取得原価	評価損益
RMBS (住宅担保)	179	18	55	12	124	6

	2007年12月末		9月末比増減		2007年9月末	
	取得原価	評価損益	取得原価	評価損益	取得原価	評価損益
資産担保証券・社債	186	8	105	7	81	0

モノライン(金融保証専門の保険会社)とは、上記以外の投融資取引またはデリバティブ取引(CDSなど)の残高は無い



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。